

寒い季節、低温やけどに注意しましょう。

寒さが増しコタツや使い捨てカイロなどで暖をとることが多くなりますが、ここで注意したいのが暖房器具による低温やけどです。高温でのやけどと違いじわじわとダメージを受けるため、気づかないうちに重症化してしまうこともあります。発症すると、赤みや痛み、水ぶくれなどが現れます。見た目は軽症に見えても、実際には重いやけどであるケースもあり、症状に気づいた段階で、患部を冷やすなどの応急処置をしてもあまり効果が期待できず、時間とともに症状が進行していきます。「低温やけどかな？」と思ったら自己判断せず、早めに医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。



(注意点)

- 電気毛布、電気アンカ、こたつなどの暖房器具をご利用の際は、ある程度温まったら一度切って、つけっぱなしにしないようにしましょう。オフタイマーなども活用してください。
- 貼るタイプの使い捨てカイロをご利用の際は、肌に直接貼らず、衣服の上から貼るようにしましょう。

◎ (東棟) 介護保険デイサービス

田中様より「地の神様」の祠と藁のお皿を祭事・風習の説明書とともに提供頂きました。最近石祠が多くなっている中で、ひと昔前を回想する貴重な時間となり大変感謝しております。



◎ (西棟) 障害福祉デイサービス

今年はペーパーの芯を活用したクリスマスツリーを制作、年賀状づくりや新年の飾りづくりなどに取り組み、師走らしく忙しい日々を過ごしています。

インフルエンザの流行期となっていますが、感染対策を引き続き行い、笑顔で年末年始を過ごしたいと思います。



感染予防の三つのポイント

①体内に病原体を入れない対策をする。

手洗い、うがい、マスクの使用、部屋の換気や加湿、食品の衛生管理

②体内に入ってくる病原体と戦う力(体力、免疫力)を保つ。

バランス良い食事、適度な運動、十分な睡眠など規則正しい生活、予防接種など

③感染症の診断を受けた場合は、周囲の人との接触を避ける。

多くの方が集まるデイサービスでは蔓延予防にも注意を払う必要があります。ご利用者または同居されている方が胃腸炎やインフルエンザ等感染症にかかった場合もウイルスを保持している可能性が高いためデイサービス利用をご遠慮頂くようお願い致します。

